

標準装備品

- 本体関係
- 微速コントロール
- 前照灯
- 昇降ステップ(足廻り、キャブ)
- サイドミラー
- ガントリーシーブ給脂配管
- ケリーフレーム給脂配管
- 電動式燃料ポンプ
- エアコン
- 時計付AM/FMラジオ
- 前面窓間欠ワイパー
- 前面下窓及び天窓ワイパー
- ウインドウォッシャー(前面窓)
- グリップアクセル
- プロンズガラス
- フロアマット
- フットレスト
- シガレットライター
- 灰皿
- 水準器
- 分解ジャッキ
- 標準付属工具
- 標準予備品

■安全装置

- 旋回ロック
- 旋回警報(ブザー、フラッシャー)
- ブレーキ掛け忘れアラーム
- 電動式ドラムロック(主巻、補巻、ブーム)
- エンジン停止時自動ブレーキ
- OKモニタ
- ブレーキペダルカバー(レバーと同色)
- ゲートロック
- フリーフォールインターロック
- フリーフォール表示灯
- 中立時ネガブレーキ
- キー式解除スイッチ
- 操作レバーロック
- ハウス上面ノンスリップシート

■フロント関係

- ラチス式ブーム25m(7+2+4+6+6m)
- 15.3m×5段ケリーバ
- ブームバックストップ(シリンダ付)
- ケリーロープ(φ28)
- ブーム起伏ロープ(φ16)
- ブーム角度計
- ブーム過巻防止装置
- ブーム第2過巻防止装置
- フートピン脱着シリンダ

オプション装備品

- 本体関係
- ラダー(本体後端右側取付)
- 運転室側アンダーカバー
- サイドステップ(ハウス全周)
- 天窓ガード
- ハウス上手摺
- N150型バッテリー(寒冷地用)
- ドラムミラー
- ドラムライト
- 強力ヒーター(寒冷地用)
- サンバイザー
- マイク&スピーカ

■安全装置

- クレーン検査
つり上げ荷重17ton
つり上げ荷重28ton
- 過負荷防止装置
- M/L外部表示灯(3色)
- 旋回音声警報
- ドラムロック検出表示灯
- カメラ&センサ(後方監視用)
- 親綱ポール

■フロント関係

- 拡底工法用改造
- 施工管理装置
- ロータリーテーブル
- ホースガイド
- バケット用アダプタ
- 17tonフック(スイベルジョイント付、1本掛け)
- 28tonフック(2本掛け)
- 補巻ロープ(φ30)
- フック過巻防止装置(補巻)
- スライドハンマ
- ワイヤテンション掛け治具
- 拡底バケットBKシリーズ



※オプション装備機

NISSHA EARTH BOY

アースボーイシリーズ ロングクローラ式アースドリル ED6200H-2

最大掘削深度 軸掘バケット：65m(フレーム下方位置)



オフロード法[少数特例]対応
97年基準超低騒音型認定



日本車両製造株式会社
https://www.n-sharyo.co.jp/

■建設機械本部 / 鳴海製作所 / 営業総括部
〒458-8502 名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地 TEL(052)623-3312 FAX(052)623-4349

●本カタログに掲載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。●本機の取り扱いに際しましては取扱説明書の注意事項を必ずお守りください。●お客様による本機の改造、他機器・機材の付加については保証範囲外としますので、必ず弊社にご相談ください。

■お取り扱い店

CAT.No.144B (このカタログの内容は2024年4月現在のものです)



大径化・大深度化する拡底杭工法に対し、
最上位モデルのED8200H並みの能力を秘めた

ロングクローラ式 アースドリル ED6200H-2登場。

日車アースボーイシリーズの主力モデル「ED6200H-2」に
上廻りサイズはそのままクローラサイズを大きくしたロングクローラタイプ
〈通称:ED6200H-2(L)〉を新たにラインナップ。

安定性の高い 掘削性能

機体の上廻りサイズはそのままに、クローラ長さを従来機より約400mm大きくしたことにより、施工時の安定性が格段に向上。抜群の掘削精度を誇ります。

分解輸送用ジャッキ の標準化

クローラの大型化に伴う機体質量増に対応するためクローラの分解輸送用ジャッキを標準装備としました。

施工能力



■5段ケリーバ

搬送性の良い5段式の15.3mケリーバを装備し、最大掘削深度は65mとしています。また、大型アースドリルED8200Hやテレスコプーム式アースドリルED6200H-2〈通称:ED6200H-2(T)〉と、ケリーバ外径を共通化させています。

■ケリードライブ

バケットの回転トルクは高トルク時:118kN・m(12.0tf・m)を発揮します。

●高圧型ロータリカップリング

20.6MPaに対応した高性能ロータリカップリングを装備しました。

●流量計

ロータリテーブル上に流量計を設置して、拡底バケットの開閉量を確実に検出します。

■補助吊り能力

補巻ドラム(補助吊り)ロープ径はφ30mm。



最大吊り能力

1本掛け時:
17ton×7.9m(ケリーバ付・ケリードライブ付)

2本掛け時:
28ton×6.6m(ケリーバ無・ケリードライブ付)

●能力の詳細については定格総荷重表をご参照ください。



ロングクローラ式アースドリル ED6200H-2 充実の機能と装備

■ハウス上部手摺(オプション)

本体上での作業時転落防止と物品落下防止用に、ハウス上に幅木付きの脱着式手摺を設けます。



■クローラの大型化

クローラ長さを従来機より約400mm大きくすることにより、施工時の安定性を向上させました。同時に分解輸送用ジャッキを標準装備とし、クローラの着脱とトレーラへの積み込みを容易にしました。



■強化型ブーム

掘削精度を高めるため、ブームのたわみを抑える高剛性ブームを採用しています。

■ロアブームの大型化

ロアブーム長さを従来機より1000mm長くし、フロントフレーム廻りも大きくすることにより、懐スペースを広くしました。これにより大型の2倍径拡底バケットBK20-III型(最大拡底径φ4100mm)を通常使用可能とし、条件付きで超大型のBK23-III(最大拡底径φ4700mm)も使用できます。



■2倍径拡底バケットシリーズ(オプション)

BK10-III~BK23-IIIまでをラインアップ。

条件付にてBK23-IIIを装着し、最大拡底径φ4,700mmの施工が可能です。



●2倍径拡底バケット主要諸元

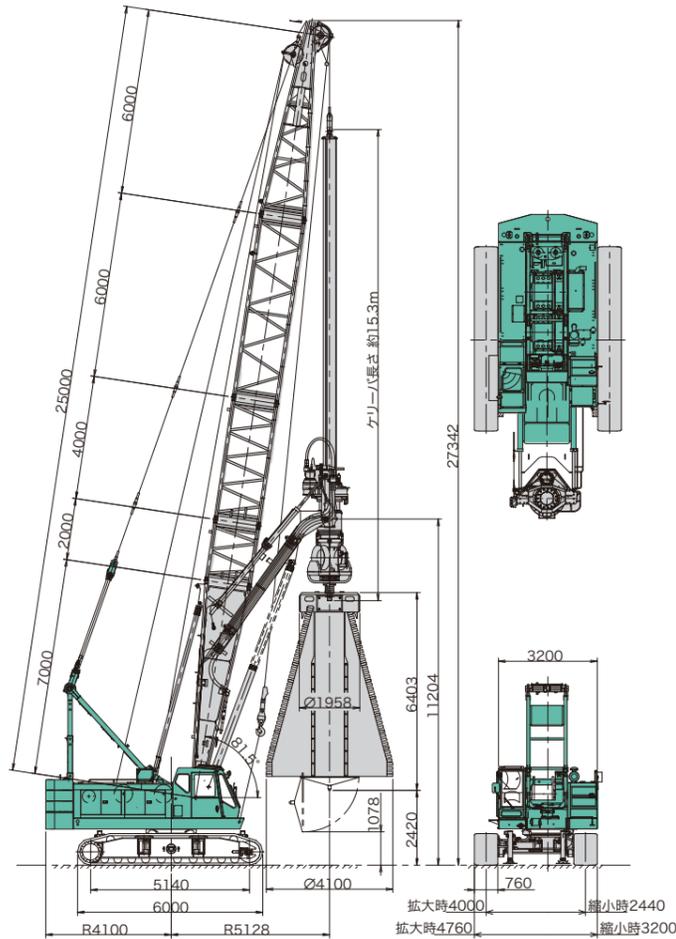
バケット形	BK10-III	BK11-III	BK12-III	BK13-III	BK14-III	BK15-III	BK16-III	BK17-III	BK18-III	BK19-III	BK20-III	BK23-III
軸掘り径【mm】	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,300
最大拡底径【mm】	2,100	2,300	2,500	2,700	2,900	3,100	3,300	3,500	3,700	3,900	4,100	4,700
全高【mm】	3,900	3,960	4,020	4,340	4,860	5,250	5,460	5,700	5,740	5,990	6,250	7,000
バケット質量【kg】	3,800	4,100	4,400	5,400	6,200	6,900	8,300	8,700	9,000	9,700	10,500	12,700

■本体仕様

ブーム長さ		25m
最大掘削深度 (軸掘りバケット使用)	フレーム上方位置	59m
	フレーム下方位置	65m
バケット 回転トルク	高トルク時(正転/逆転)	108/118kN・m(11/12tf・m)
	低トルク時(正転/逆転)	59/59kN・m(6/6tf・m)
ケリーバ押し下げストローク		700mm
ロープ径	主巻(バケット)	φ28
	補巻(補助吊り)	φ30
最大補助吊能力(定格)		17tf×7.9m(1本掛け時)
		28tf×6.6m(2本掛け時)
作業速度	バケット回転数(高/低)	*18/9min ⁻¹
	主巻(バケット)巻上・巻下	*45/26m/min
	補巻(補助吊り)巻上・巻下	*45/26m/min
	ブーム巻上・巻下	*53m/min
	旋回	*2.8min ⁻¹
走行速度(1速/2速)		*1.4km/Hr
輸送時登坂能力		40%
エンジン型式		日野J08C-UD(オフロード法少数特例)
定格出力		182kW(247PS)/2100min ⁻¹
全装備質量(BK-20Ⅲを含む)		約98.2t
平均接地圧		123kPa(1.26kgf/cm ²)

*印は、負荷により変化します

■本体外観図



●図は拡底バケットBK20Ⅲを装着

■クレーン定格総荷重表(オプション)

注意事項

1. 定格総荷重は水平堅土における値で、転倒荷重の78%以内及び、移動式クレーン構造規格に定める前方安定度1.15以上です。
2. 定格総荷重表以外の範囲では作業を行わないで下さい。
3. 1本掛けクレーン作業は、必ずバケットを取外して下さい。フレーム調整シリンダをフリーにして、フレーム起伏シリンダを最長まで伸ばし、次にフレーム調整シリンダを固定して、ケリーバ下端をテーブル下端より5m位下げた状態で行なって下さい。2本掛けクレーン作業は、必ずバケット及びケリーバを取外して下さい。
4. フレーム調整シリンダを最長まで伸ばした後、フレーム起伏シリンダを最長まで伸ばした状態で行なって下さい。
5. クレーン作業時はケリードライブを一番下まで下げた状態で行って下さい。(フックとケリードライブが干渉します。)
6. ロータリテーブルは、必ず横長方向でロック状態にし、回転させないで下さい。(テーブルが起伏シリンダに干渉します)
7. ロータリテーブルを取り外した場合は、下記定格総荷重の値に0.6t足した値になります。但し1本掛けの場合は最大値17t以上、2本掛けの場合は最大値28tを超えない値になります。
8. ロープ掛数に対する最大巻上荷重とフック質量は以下の通りです。

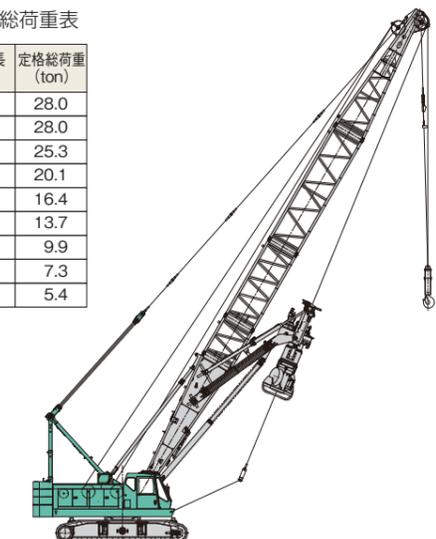
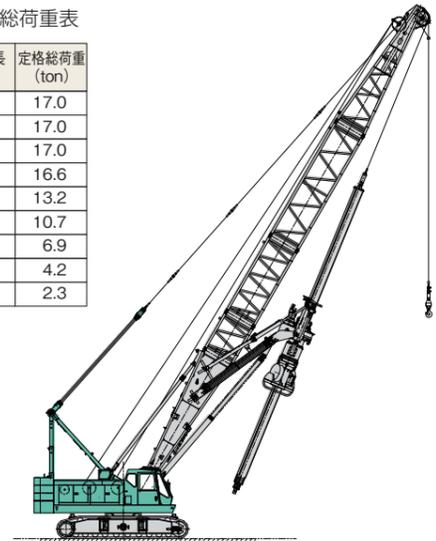
フック容量	フック重量	定格総荷重の最大値(ton)	
		2本掛	1本掛
28ton	480kg	28	17
17ton	140kg		

●1本掛け定格総荷重表

作業半径(m)	ブーム長(°)	定格総荷重(ton)
6.7	77.9	17.0
7.0	77.1	17.0
7.9	75.0	17.0
8.0	74.8	16.6
9.0	72.4	13.2
10.0	69.9	10.7
12.0	64.9	6.9
14.0	59.7	4.2
16.0	54.2	2.3

●2本掛け定格総荷重表

作業半径(m)	ブーム長(°)	定格総荷重(ton)
6.5	77.9	28.0
6.6	77.7	28.0
7.0	76.8	25.3
8.0	74.4	20.1
9.0	72.0	16.4
10.0	69.5	13.7
12.0	64.5	9.9
14.0	59.3	7.3
16.0	53.8	5.4



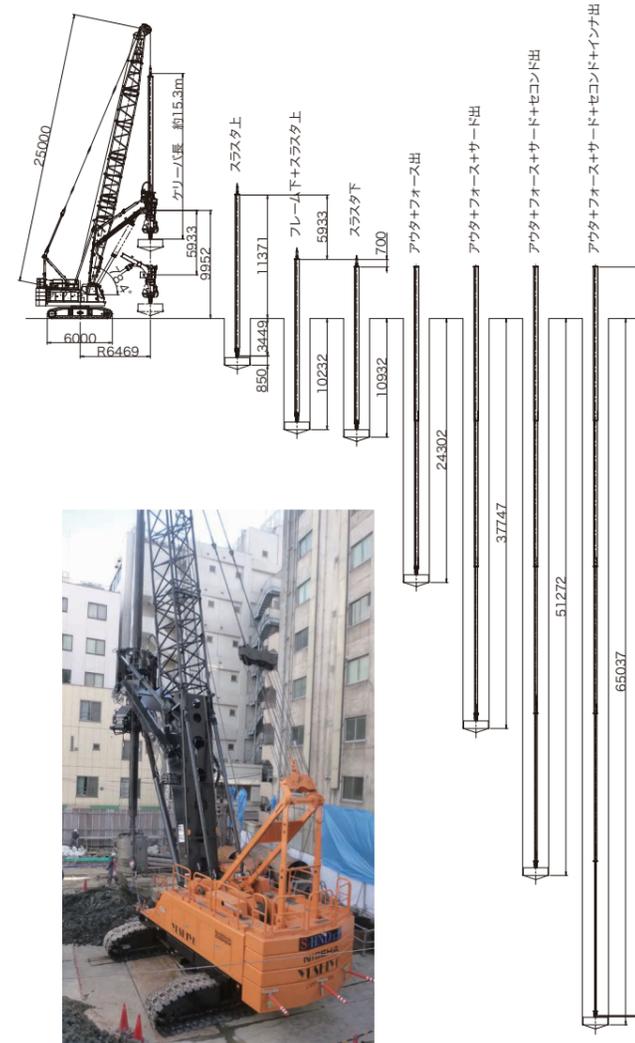
■概略分解寸法及び質量

主要部品名	質量(t)	寸法(m)長×幅×高	備考
本体	39.40	7.63×3.20×3.35	
本体(サイドフレーム無)	27.10	7.03×3.20×2.99	
サイドフレーム	6.10	6.00×0.98×1.02	2個
カウンタウェイト(最上部・中間部)	5.50	3.20×0.88×0.49	3個
カウンタウェイト(最下部)	6.50	3.20×0.88×0.71	1個
ブームロア	9.60	10.37×2.30×2.93	フロントフレーム、アップロード起伏及び調整シリンダを含む
ブームアップ	1.75	6.52×1.25×1.60	ペンダントロープを含む
2m継ぎブーム	0.45	2.15×1.25×1.62	ペンダントロープを含む
4m継ぎブーム	0.70	4.15×1.25×1.62	ペンダントロープを含む
6m継ぎブーム	0.80	6.15×1.25×1.62	ペンダントロープを含む
ケリードライブ	5.80	3.74×2.29×1.90	ロータリカップリング含む
ロータリテーブル	1.60	2.13×1.44×1.42	
ケリーバ	6.30	φ0.49×15.30	
ブームバックストップ	0.29	φ0.19×5.19	2本
28tフック	0.48	1.73×0.77×0.33	
17tフック	0.14	1.60×0.29×0.20	スイベル含む

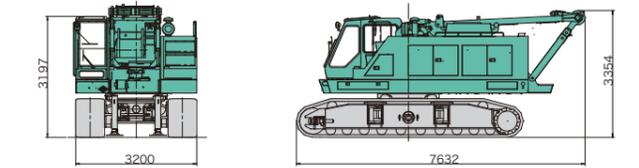
上表は本機を輸送する際の分解質量の一例です。本機をトレー等で輸送する場合は関係官庁の通行許可が必要となります。また、輸送時の寸法・質量については関係法規に従い、ご確認の上輸送してください。

■最大掘削深度

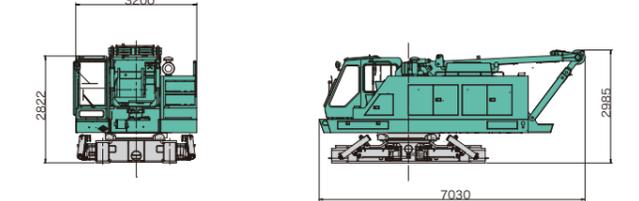
25mブーム+15.3mケリーバ仕様時



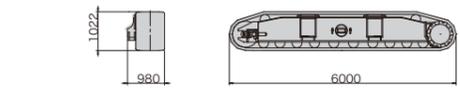
(1) 本体 39.4 t



(1-1) 本体(サイドフレーム無) 27.1 t



(1-2) サイドフレーム 2×6.1 t



(2) カウンタウェイト

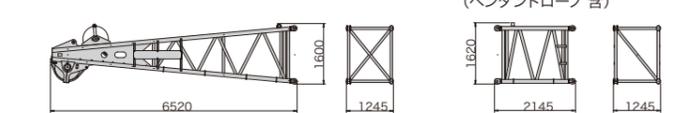
C/W(B) 6.5 t C/W(M) 3×5.5 t



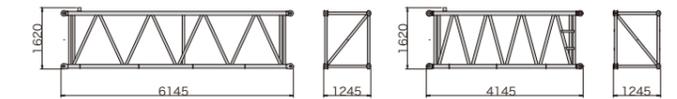
(3) ブームロア(フロントフレーム+アップロード起伏シリンダ+調整シリンダ 含) 9.6 t



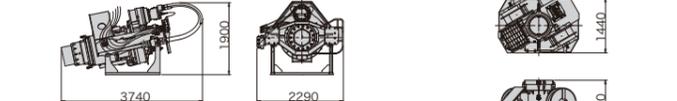
(4) ブームアップ(ペンダントロープ 含) 1.75 t



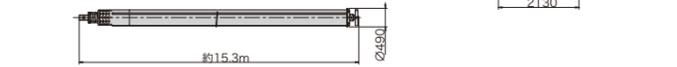
(6) 6m継ぎブーム 0.80 t (ペンダントロープ 含)



(8) ケリードライブ 5.8 t (ロータリカップリング 含)



(10) ケリーバ 6.3 t



(11) ブームバックストップ 2×0.29 t



(13) 28t補助フック



(12) 17t補助フック 0.14 t

